

不妊治療の保険適応価格について

2022年4月より開始される「ART 保険適用」におきまして、保険点数の30%が患者様負担額となります。3割負担の料金を表にしましたので参考にご覧ください。

- ※回数のカウントは、「移植」までした場合を基準とし、「採卵」の回数ではありません。
- ※将来使用目的での採卵は保険対象外です
- ※高額療養費限度額制度を使用した場合は還付があります。

人工授精までの一般不妊治療

一般不妊治療管理料	¥750 (3ヵ月に1回)
再診料+エコー	¥1,810 (月に2回まで)
人工授精	¥5,460

体外受精

生殖補助医療管理料	¥900 (体外受精周期毎)
排卵誘発剤：実費(保険)	約¥10,000～¥20,000
超音波、ホルモン検査(保険)	1回約4,000(1周期3回程度)

採卵

採卵基本料	¥9,600 (0個の場合)※採卵個数ごとに下記を加算	
	1個	¥7,200 (基本料含め¥16,800)
	2～5個	¥10,800 (基本料含め¥20,400)
	6～9個	¥16,500 (基本料含め¥26,100)
	10個以上	¥21,600 (基本料含め¥31,200)
麻酔管理料	約¥2,800	

受精

媒精(ふりかけ)	¥12,600 (個数にかかわらず)	
顕微受精(ICSJ)	1個	¥14,400
	2～5個	¥20,400
	6～9個	¥30,000
	10個以上	¥38,400

※両方実施の場合は、顕微受精+媒精の半分(¥6,300)

※TESE 精子使用の場合は¥15,000加算

受精卵培養(採卵翌日から受精した個数ごと)

1個	¥13,500
2～5個	¥18,000
6～9個	¥25,200
10個以上	¥31,500

胚凍結

1個	¥15,000
2～5個	¥21,000
6～9個	¥30,600
10個以上	¥39,000

胚盤胞加算(胚盤胞培養個数)

1個	¥4,500
2～5個	¥6,000
6～9個	¥7,500
10個以上	¥9,000

胚移植

新鮮胚移植	¥22,500
融解胚移植	¥36,000
AHA(アシステッドハッチング)	¥3,000
高濃度ヒアルロン酸含有培養液	¥3,000

《例1》低刺激(CC)周期 約¥80,800

生殖補助医療管理料¥900+採卵1個¥16,800+媒精¥12,600
+培養¥13,500+凍結1個¥15,000+麻酔管理料¥2,800
+時間外加算¥7,200+(薬剤、ホルモン検査、超音波¥12,000)

《例2》中間刺激(CC+HMG)周期

採卵4個、余剰胚2個の場合 約¥120,800

生殖補助医療管理料¥900+採卵4個¥20,400+媒精¥12,600
+培養2個¥18,000+胚盤胞2個¥6,000+凍結2個¥21,000
+麻酔管理料¥2,800+時間外加算¥9,100+(薬剤、ホルモン検査、超音波¥30,000)

《例3》高刺激周期

採卵10個、余剰胚3個の場合 約¥181,200

生殖補助医療管理料¥900+採卵10個¥31,200+媒精¥6,300
+ICSI5個¥20,400+培養7個¥25,200+胚盤胞3個¥6,000
+凍結3個¥21,000+麻酔管理料¥2,800
+時間外加算¥13,400+(薬剤、ホルモン検査、超音波¥54,000)

《例4》ホルモン補充融解胚移植 約¥62,000

融解胚移植1個¥36,000+AHA¥3,000+高濃度ヒアルロン酸含有培養液¥3,000+薬剤、ホルモン検査、超音波¥20,000

※採卵術は早朝での対応となる為、採卵当日の時間外加算が手術麻酔代の0.4%発生いたします。